

7月のほけんだよ!

えがお
No.9
島守小学校保健室
令和4年7月15日

親子会議へのご参加、ご協力ありがとうございました!

7月8日(金)にNPO法人青森県防災士会 副代表理事 八戸支部長 立花 悟先生を講師としてお招きし、親子会議を開催しました。

「大切な命を守る防災教室～千年の災害に備える時～」



児童の感想紹介

- 津波の高さが分かりました。
寝る部屋にライトを置くことが分かったので、僕も置いて寝たいです。
- 洪水がきたら、高い所の朝もやの館や、館のやかたに避難したいです。避難するときは、食料をリュックなどに入れて避難したいです。
- 部屋に一つ懐中電灯を置いていた方がいいと分かったし、散らかさないというのは、家でもできるので気を付けるようにしたいです。
- 東日本大震災の津波がすごく大きくなっていて、高いところがいなければいけないと思いました。私が一番びっくりしたのは、水が50cmより深くなると車が動くということです。
- 津波がきたら絶対に泳ごうとは思わずに走るようにしたいです。東日本大震災のときに、自分の4倍くらいの津波が来ていてとても怖いなと思いました。家族との決まり事などもちゃんと決めたいです。
- 避難所に行ってもあまり食べ物が無いということを知ったので、もし避難することがあったときのために避難用のリュックを作ってみようと思いました。私が避難すると決めていたところは、ハザードマップを見せてもらったとき、安全な区域だったので良かったです。

親子会議! 防災対策まとめ

◎日頃からお家でできる備え

・各部屋に一つ懐中電灯やライトを置こう

→単三電池一本で使えるものだととても良いです。



・お部屋を片付けておこう

→災害が起きたときに部屋が散らかっていると、すばやく避難ができなかったり、つまずいてけがをしてしまったり、とても危険です。ドアの前や廊下にも荷物を置かないようにしましょう。

・スリッパをはこう

→足をけがしてしまうと、自分で逃げるができなくなってしまいます。



・ローリングストックをしよう

→普段の食品を少し多めに買い置きしておき、古いものから消費し、消費した分を買い足すことで、常に一定量の食品が家庭で備蓄されている状態を保つための方法です。家族3日以上を備えておきましょう。



◎避難するときの注意

・トイレや食べ物があるところに避難しよう!

・避難所に行くときは食べ物や、非常用持ち出しバッグを持っていこう!

→車に入れておいたり、玄関先に置いておきましょう。



保護者の方へ <親子会議のワークシートについて>

ご家庭で防災について話し合っただきありがとうございました。ワークシートを返却しますので、ぜひ、お家の中の家族全員が見るところに掲示をお願いいたします。